

教 師 ノ ー ト

週課	第三年 第四課 第二週
単元	イースター
テーマ	イエスさまの十字架
タイトル	十字架のイエスさま
テキスト	ヨハネ 19:23-30
参照箇所	マタイ 27 章,マルコ 15:1-41,ルカ 23:13-49,ヨハネ 15:13
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ローマ 3:23-24
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

今日から受難週に入ります。難しい言葉ですね。世界中のクリスチャンが、イエスさまの十字架を思い返しながらかこの一週間を過ごします。イエスさまはどうして十字架にかかれたのでしょうか。そして十字架の上でどんなことを思い、何を話されたのか、一緒に聖書を読んでみましょう。

□ポイント1 イエスさまは、十字架にかかられました(23-24)

イエスさまは何も悪いことはしていなかったのに、人々はイエスさまを「十字架につけろ」と激しく叫びました。それで、総督ピラトはイエスさまを十字架につけるために引き渡したのです。ゴルゴタの丘で2人の犯罪人と一緒にイエスさまは両手両足に釘を打たれ、茨の冠をかぶせられ、十字架にかけられました。十字架の下では4人の兵士たちがイエスさまの着物を4つに分けました。しかし、イエスさまの下着(肌着)は縫い目のない高価なものだったので、くじを引いて一人が取りました。それは何百年も前に書かれた詩篇22篇18節に書かれている聖書の言葉が成就するためでした。

問い:死刑(十字架)になる人って、本当はどういう人ですか?…人殺しなど凶悪犯罪者

しかしイエスさまには、総督のピラトが認めるほどに1つの罪もありませんでした。イエスさまの十字架は、旧約聖書に示されていることでした。聖書には、神さまの心が書かれています。イエスさまは、父なる神さまの思いに従われて十字架にかかられました。持ち物も着ているものも、そしていのちさえも、与え尽くす生涯を歩まれました。cf.「まぶねの中に」の歌詞を紹介しても良いでしょう。

問い:十字架の上で、イエスさまはどんなことを思っていたのでしょうか?…ポイント2につなげる

□ポイント2 イエスさまは、マリヤを愛する弟子にお願いしました(25-27)

イエスさまの十字架のそばには、兵士たちだけではなく、お母さんのマリヤやお母さんの姉妹、そしてもう2人のマリヤがいました。イエスさまは十字架の上から、お母さんのマリヤを見ました。イエスさまは、自分が一番苦しい時でしたが、お母さんの悲しみがわかっていました。自分を育ててくれたお母さんを、愛する弟子にお願いしました。このお弟子さんは、その日から、マリヤを自分の家に迎えたのです。

自分がしんどい時、苦しい時、熱が出て病気の時、他の人のことを心配する気持ちになれません。自分のことで精一杯です。でもイエスさまは、神さまを愛することと隣人を愛すること、この2つが一番大切な戒めだと教えられたとおり、神さまを愛して聖書のとおり十字架にかかれ、苦しい十字架の上でもお母さんのマリヤのことを愛して心をくばられました。もちろんイエスさまはマリヤだけではなく、私

たちのことも愛しているからこそ十字架にかかられました。 cf. 「両手いっぱい愛」の歌詞を参照

□ポイント3 イエスさまは、十字架の上で死なれました(28-30)

それから、イエス様は自分のすべき事が全部終わった事がわかりました。イエス様が「わたしは渴く」と言われたので、兵士の一人が酸っぱいぶどう酒を含ませた海綿(スポンジのようなもの)をイエス様に差し出しました。イエス様は、それを少し口に含むと、「完了した」と言われました。そして息を引き取りました。

テレビや映画で「あー無念じゃ」、「死ぬに死ねない…」そう言いながら死んでいく人の姿を見る時があります。そこには「もっとこうすれば良かった。こうなれば良かった…」という後悔があるのでしょうか。しかしイエスさまは、最期に「完了した」と言われました。これは「終わってしまった」という意味ではなく、「完成した。成し遂げられた」という意味です。滝に打たれて修行をしたら救われるのではなく、もっと良い人になったらイエスさまが愛してくれて救われるのではなく、罪のないイエスさまが私たちの身代わりとなって十字架にかかって下さったからこそ、私たちの罪はゆるされ、救いは完成されます。自分の罪を告白して私たちを命がけで愛している十字架のイエスさまを信じる、このこと以外に救いはありません。救い主イエスさまを信じてイエスさまと一緒に歩む時、私たちもイエスさまのように神さまを愛し、隣人を愛していくことができます。

□結論 罪のないイエスさまが、聖書(神さまの思い)の言葉のとおり、私たちの救いを完成するために十字架にかかって死なれました。 暗唱聖句を読み上げます

イエス様があなたのために、十字架にかかって罪をゆるして下さった事を感謝しましょう。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

罪のないイエスさまが、私たちの罪のために十字架にかかって下さったこと、イエスさまは私たちの救い主だということをもう一度一緒に信じていきましょう！

1. 近くにいる人を赦せない、愛せない、仲良くできない、そういうことはありませんか？
2. 「どうして、こんな目にあわなければならないのか」という傷や痛み、悲しみを持っていませんか？
3. 「あの時、あんなことをしなければよかった」という後悔はありませんか？
4. 「もっと良い人になったら、イエスさまから愛される」と思っていないですか？

イエスさまは十字架の上で救いを完成して下さったので、どんな後悔も痛みも罪も、全部ゆるして、いやして下さいます。修行をつんで頑張ったから、テストで 100 点をとったから、イエスさまから愛されるわけではありません。聖書の示すとおり、自分の罪を告白し、悔い改めましょう。すべての罪はゆるされます。あなたはイエスさまから愛されているのです。